

河北町といえば

## 冷たい肉そば

ルーツについては諸説ありますが、「谷地の肉そば会」によると、戦前までさかのぼるということです。

そば屋さんが居酒屋を兼ねていた当時、馬肉の煮込みをつまみにお酒を飲み、どんぶりに入れた盛りそばでしめる、というのが常だったそうです。ある時、お客さんが残った馬肉の煮込みをそばにかけてみたところ、思いのほか美味しかったことがルーツになったという説があります。その後、戦争により馬が手にはいりづらくなったことで、馬肉が、どこの家でも飼っている鶏にとってかわり、またシメとして食べる時によりのびにくく、コシを保てるように、ということでスープを冷やして食べるスタイルが定着し、広まっていったということです。

親鳥なのでお肉がコリコリと歯ごたえがあって、冷たいそばとよく合って美味しいです。

河北町といえば

## イタリア野菜

数年前から、河北町では、イタリア野菜が盛んにつくられるようになりました。その中でもタルティーボは、イタリア野菜の中でも有名です。タルティーボは、面白い形をしています。トレビスやチコリと同じキク科の野菜です。イタリア野菜イタリアで作られたトレヴィーゾと呼ばれる品種で、タルティーボは「晩成」という意味を表しています。逆に「早生」のものは「プレコーチェ」と呼ばれています。本場イタリアでも栽培に手間がかかる事から高級食材として扱われています。白いところが甘く、紫色が苦くなっています。



河北町といえば

## 甘いさくらんぼ

河北町は、山形県を代表するさくらんぼの産地です。夏冬・昼夜の寒暖の差が大きい恵まれた気候なので糖度が高く品質の良いさくらんぼを作ることができます。6月中旬には、たくさんの方がさくらんぼ狩りに訪れます。そして観光、さくらんぼ園や体験農業の人たちでにぎわいます。



## お茶

## アサツユシリーズ

**丹野園は、私たち溝延小の学区にあるお茶屋さんです。**

・丹野園の看板商品で人気No.1は「初緑」です。ニガ味、シブ味が少なく、水の色は緑鮮やかで、誰でも出しやすく、首都圏で行う特産展などでも、一番人気のある上級茶だそうです。

- ・ほんのり苦く、甘いお菓子と相性ばつぐんです。
- ・アサツユシリーズの緑茶は水の色が良く、コクのある味わいで人気のある商品です。
- ・リーフティーパックもおすすめです。お湯を注ぐだけでいつでもどこでもあたたかい、おいしい日本茶が楽しめます。急須で入れる日本茶のように、2煎茶、3煎茶目までおいしく飲めます。

## その他の種類

- ・季節のしずく
- ・心しずか
- ・八十八夜
- ・あら茶
- ・紅花茶…など



丹野園

河北町といえば

## 溝延小学校

この小学校は、明治に校舎が完成しましたが新しくできたのは平成4年です。お城のような外観が自慢です。小学校の人数は70人でとても少ないですがみんな仲良しです。グラウンドが広く、みんなで遊べます。年に1度は、桜太鼓といって溝延橋の堤で太鼓を披露します。



溝延小

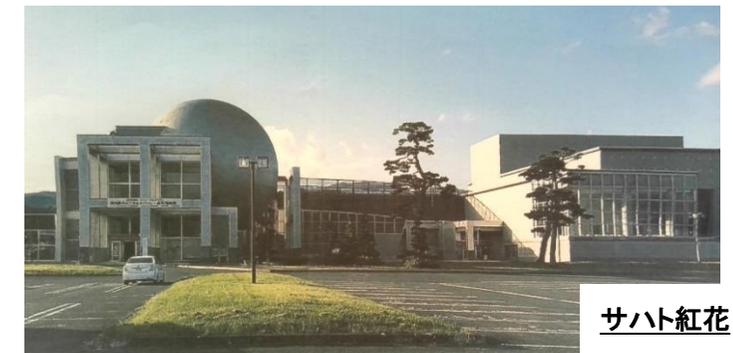
河北町といえば

## サハトベに花

サハトベに花はいろんな活動ができます。プラネタリウムを見ること、大ホールで舞台を行うこと、さらに図書館で本を借りることもできます。

プラネタリウムは、ドーム径15mの全天周劇場で、半球型のスクリーンを用いた迫力の映像を見ることができます。星が好きな人はこのサハトベに花に来てみてください。大ホールは807席あり、芸術鑑賞や映画上映、伝統芸能の上演など、いろいろな催しが行われています。また、図書館にはたくさんの本があります。

サハトベに花は、生涯学習の拠点として利用されています。



サハトベに花

河北町といえば

## 河北町

河北町は、山形県の内陸地方に位置しています。自然豊かで、米作りがさかんです。

また、河北児童動物園には、可愛い動物がいっぱいいます。中には、ポニー・サル・やぎ・ひつじ・うさぎ・ふくろうなど30種類の動物がいます。駐車場が無料なので、気軽に利用できます。

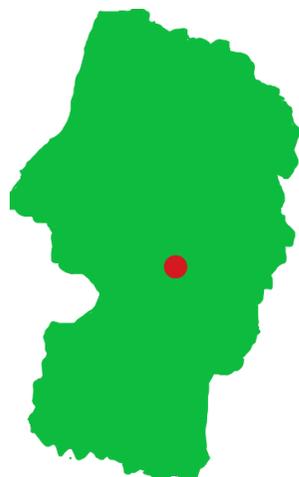
他には、冷たい肉そばが有名です。河北町民や河北町をおとずれる人は、たいてい冬でも冷たい肉そばを注文します。メディアによる全国グルメランキングなどの規格でも上位にランクインするほど、人気です。

また、スリッパも有名です。スリッパ卓球などの取り組みもあります。

そして、私たちの住んでいる溝延の公園には、近くに足湯があります。公園で遊んだ後に足湯で疲れをとるのは、最高です。また、八幡神社もあります。もちろんお参りもできますよ。



山形県・河北町



河北町をもっと知るために

## 河北町クイズ

・次のうち河北町の中で、有名なものは、何でしょう。

- 1, スニーカー
- 2, サンダル
- 3, スリッパ

**答えは、3のスリッパです。**

江戸後期から明治後期にかけて、室内で靴を脱ぐ習慣のない外国人に向けて作られたのがスリッパの始まりと言われています。

河北町内で生産されるスリッパは、生産量日本一を誇り、家庭用の実用品から、有名デザイナーが手掛けるブランド品も開発、生産しています。

現在、この「日本一の地場産業」であるスリッパ産業を、全国に発信していくために、町内スリッパメーカー商工会、町が連携し「かほくスリッパ」としてブランド化に取り組んでいます。

平成に入ると、中国などでつくられた安価な輸入品のスリッパが数多く売られるようになり、国内産のスリッパ業界に、大打撃を与えました。

それまでは、それぞれの会社で独自の取り組みを行ってきました。しかし、「スリッパ業界の生き残りをかけてみんなで協力する必要がある。」という考えが生まれました。そして、何度も話し合い、平成29年に最上川や紅花などのイメージをデザインしたロゴマークを完成させました。

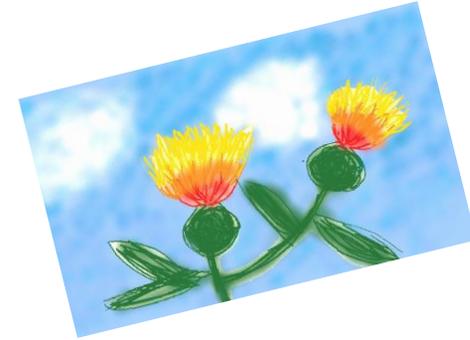


## 山形県

## 河北町をもっと知ろう！



良い所がたくさんあります。ぜひ、きてください。



999—3522

山形県西村山郡河北町溝延

字小堤312-1

河北町立溝延小学校6年生